

#### HD-SDI タイトル ジェネレータ

# STG-101

本取扱説明書では、HD-SDI タイトル ジェネレータ STG-101 の専用ソフトの使い方について説明いたします。

## 専用ソフト編 目次

メニューにない設定項目	1	8.点滅	19
システムの種類	2	9.自動切換え	20
専用ソフトの準備	3	10.文字&縁取り色	21
■ダウンロード	3	11.背景色ベタ塗り	22
■インストール方法	3	12.白黒レベル	23
■10行固定/1行スクロール(最初に選択してください)	3	13.スケジュール	24
■起動画面	3	14.アラーム	25
■インターフェイス	4	15.リモート	27
専用ソフトの操作方法	7	16.その他	28
■ファイル	7	17.表示ページ	29
■設定	7	18.水平方向のオフセット(10行固定)	29
1.日付,時刻	10	19.センタリング(10行固定)	30
2.タイトル入力	11	20.消去時間	31
3.文字サイズ	13	21.フォント種類	32
4.行間(10行固定)	15	22.外字挿入	33
5.ポジション(1行スクロール)	16	23.外字一覧	34
6.垂直方向のオフセット(1行スクロール)	17	24.全項目の設定	37
7.スクロール速度(1行スクロール)	18	25.機器のスレーブ アドレス	37
		26.メンテナンス(設定項目の読み込み)	37
		■プロトコル	37
		必要なシステム構成	38

## メニューにない設定項目

以下の項目は専用ソフトのみ可能な設定および操作です。

○タイトル入力 ..... 11 ページ **2.タイトル入力** 参照

○外字作成,登録,挿入 ..... 33 ページ **22.外字挿入**および 34 ページ **23.外字一覧** 参照

○設定のファイル保存 ..... 7 ページ **■ファイル** 参照

## システムの種類

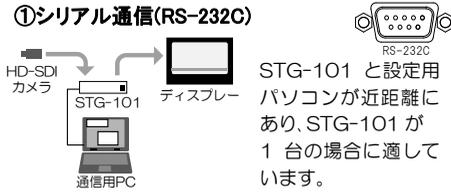
本機は、シリアル通信(RS-232C,RS-485)またはイーサネット通信(LAN,インターネット)により、コマンド送信または専用ソフトによる操作ができます。

使用目的に合わせてシステムを構築していただくことにより、一層効果的にご利用いただくことができます。

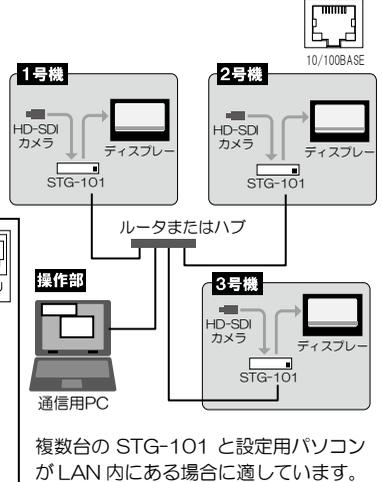
補足(クライアントとサーバーについて)

- クライアントは、ソケット接続が確立するまでサーバーに対し要求を続けます。
- サーバーは、クライアントからのソケット接続要求をリスン状態で待機します。

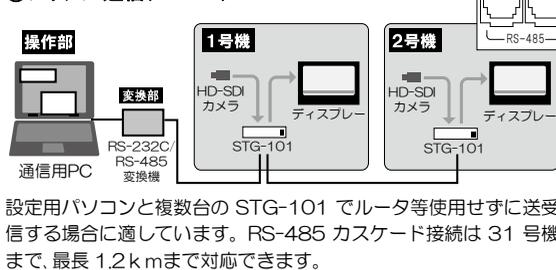
### ①シリアル通信(RS-232C)



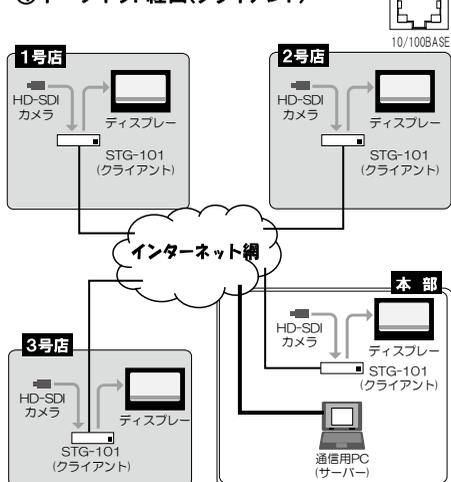
### ③LAN



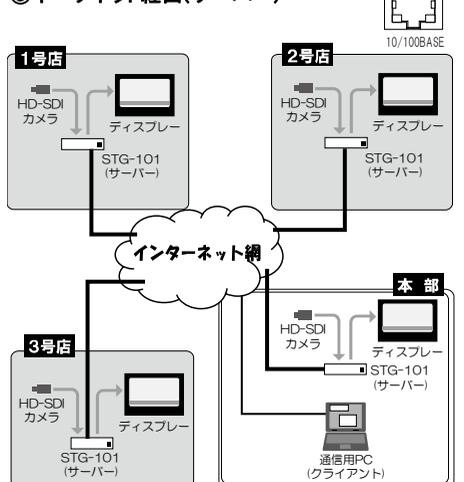
### ②シリアル通信(RS-485)



### ④イーサネット経由(クライアント)



### ⑤イーサネット経由(サーバー)



## 専用ソフトの準備

### ■ダウンロード

<http://www.n-artics.co.jp/download/>

上記 URL のダウンロード ページより、STG-101 専用ソフトの ZIP ファイルをパソコンにダウンロードします。ZIP ファイルには次のデータが含まれています。

- STG101F\_V200.exe (10 行固定)
- STG101S\_V200.exe (1 行スクロール)
- STG-101\_取扱説明書\_ソフト編.pdf(本書)

※専用ソフトはバージョン アップする場合がありますので、バージョンをご確認いただき、常に最新の専用ソフトをダウンロード、保存してください。

### ■インストール方法

ダウンロードした ZIP ファイル内の exe ファイル 2 種類を解凍してパソコンのローカル ディスク内に保存します。デスクトップにショートカット アイコンを作成しておく便利です。



### ■10 行固定/1 行スクロール(最初に選択してください)

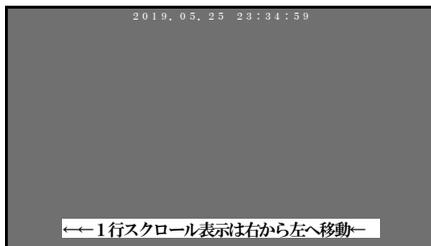
STG-101 取扱説明書(本編) 9 ページ **■表示形式(最初に設定してください)** を参照して、本体メニューで 10 行固定/1 行スクロールのいずれかを設定してください。設定した表示形式によって、使用するソフトを選択します。

表示形式	専用ソフト
10 行固定	STG101F_V200.exe
1 行スクロール	STG101S_V200.exe

**注意** ●10 行固定/1 行スクロールの設定は本体メニューのみです。専用ソフトでは設定できません。  
●ご使用の途中で 10 行固定/1 行スクロールを変更したときは、設定した値が無効になる場合がありますので、全項目の設定の再確認が必要です。



10 行固定表示例



1 行スクロール表示例(10 行)

### ■起動画面

専用ソフトを起動させると、右図の基本ウィンドウが表示されます。

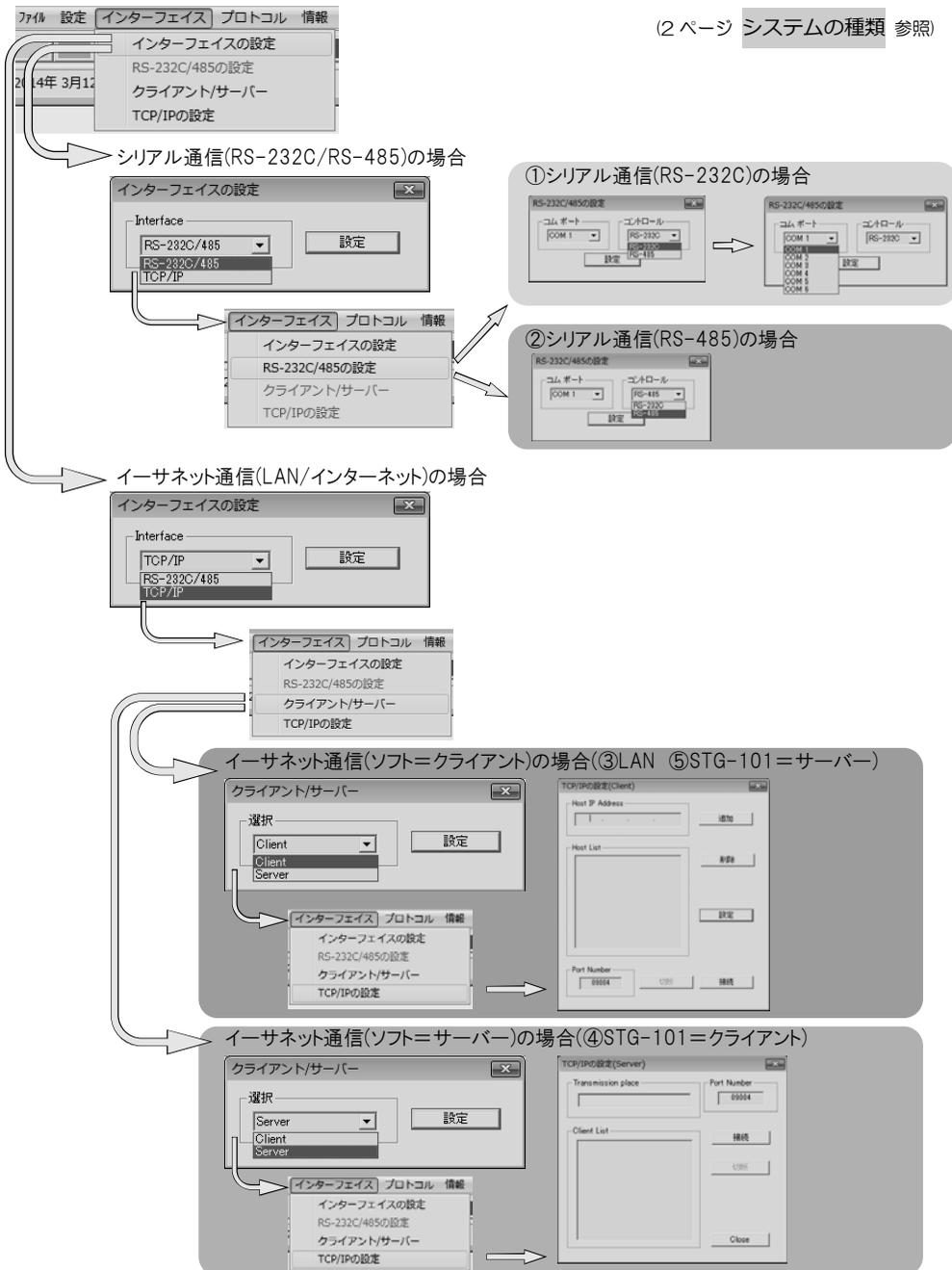


## 専用ソフトの準備

### ■インターフェイス

専用ソフトとSTG-101で送受信をおこなうとき、システムの種類によってこの設定を変更する必要があります。

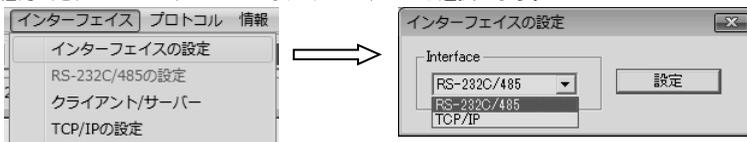
(2 ページ) システムの種類 参照



## 専用ソフトの準備

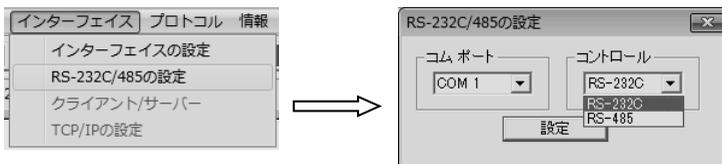
### ●インターフェイスの設定

通信方式を、RS-232C/RS-485 または TCP/IP から選択します。



### ●RS-232C/485 の設定

通信方式を、RS-232C または RS-485 から選択します。



#### ◆コムポート

使用するパソコンの Port に合わせてください。

COM1 が特に使用されていないければ、通常は COM1 を使用してください。

#### ◆コントロール

RS-232C または RS-485 を選択してください。

※RS-232C を選択したときは、各設定項目の“スレーブアドレス”が無効になります。

※RS-485 を選択したときは、各設定項目の“スレーブアドレス”が有効になりますので、設定・操作する号機をリストより選択してから設定してください。

“スレーブアドレス”に“Broadcast”を選択して設定すると一斉送信となります。

- 注意

  - カスケード接続内に本機以外の機器があるときは一斉送信ができません。
  - 一斉送信時はアンサーバックがありません。

### ●クライアント/サーバー

通信方式を TCP/IP としたとき、専用ソフトをクライアントまたはサーバーから選択して設定します。

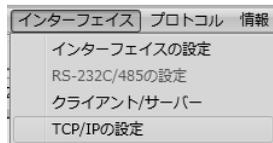


値	動作	備考
Client	クライアントとして使用	サーバー(STG-101 本体)に対しソケット接続が確立するまで要求を続ける
Server	サーバーとして使用	クライアント(STG-101 本体)からのソケット接続要求をリスン状態で待機する

### ●TCP/IP の設定

通信方式をTCP/IPとしたとき、通信先のアドレスなどを設定します。  
クライアント/サーバーの設定で別の設定ダイアログが表示されます。  
※あらかじめ本体のイーサネットに関する設定をしておいてください。

STG-101 取扱説明書(本編) 30 ページ 8-7.ETHERNET 参照



### ◆TCP/IP の設定(Client)

①接続したいSTG-101 本体のメニューで設定したポート番号を“Port Number”に入力します。  
(STG-101 取扱説明書(本編) 31 ページ 8-7-5. PORT NUMBER 参照)

②各STG-101 のIPアドレスを“Host IP Address”に入力して“追加”をクリックすると、“Host List”に表示されます。  
(STG-101 取扱説明書(本編) 30 ページ 8-7-1. IP ADDR 参照)

③“Host List”から接続したいSTG-101 のIPアドレスをダブルクリックすると“Host IP Address”に表示されますので、“接続”ボタンをクリックして接続してください。

④“設定”ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をおこないます。専用ソフトを終了するとき、このダイアログを再び表示させて“切断”をクリックしてから終了してください。



※他のSTG-101 と接続する場合は、“切断”をクリックしてから③の操作をおこなってください。

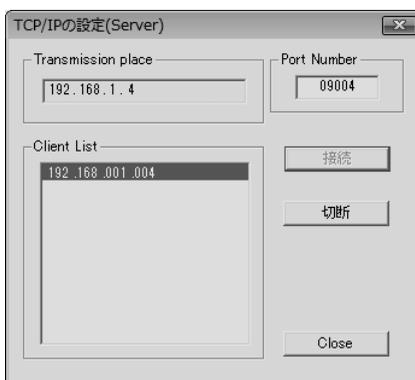
### ◆TCP/IP の設定(Server)

①接続したいSTG-101 本体にあらかじめ設定したポート番号を“Port Number”に入力します。  
(STG-101 取扱説明書(本編) 31 ページ 8-7-5. PORT NUMBER 参照)

②“接続”をクリックしてリスン状態で待つと“Client List”に各STG-101 のIPアドレスが表示されます。  
(STG-101 取扱説明書(本編) 30 ページ 8-7-1. IP ADDR 参照)

③接続したいアドレスをダブルクリックすると“Transmission place”に表示され決定します。

④“Close”ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をおこないます。専用ソフトを終了するとき、このダイアログを再び表示させて“切断”をクリックしてから終了してください。



※他のSTG-101 と接続する場合は“切断”をクリックしてから③の操作をおこなってください。

## 専用ソフトの操作方法

### ■ファイル

専用ソフトで設定した各種設定内容は、複数のファイルでパソコンに保存できます。

#### ●新規作成

各項目を出荷時または未入力の状態に戻すことができます。

#### ●開く

保存されているファイルを開いて、ソフトに設定内容を読み込みます。

#### ●上書き保存

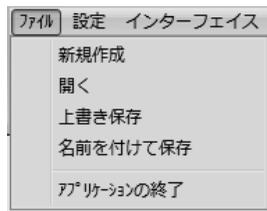
開いているファイルの内容を変更して上書き保存します。

#### ●名前を付けて保存

設定内容を任意の名前を付けて保存します。拡張子は“dat”です。

#### ●アプリケーションの終了

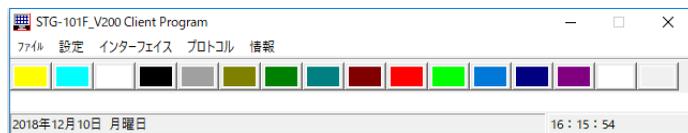
専用ソフト(アプリケーション)を終了します。



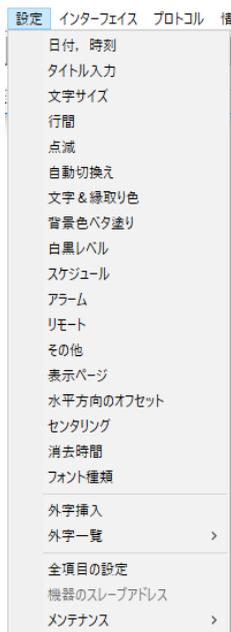
### ■設定

メニュー バー“設定”のプルダウン リストから設定したい項目をクリックするとシートが表示されます。

起動画面の16個のボタンでシートを表示できる項目もあります。



プルダウン リストの詳細は、次ページをご参照ください。



## 専用ソフトの操作方法

### ●プルダウン リストの構成

使用する専用ソフトによりプルダウン リストの構成は下表のようになります。

10行固定 STG101F_V200.exe		1行スクロール STG101S_V200.exe	
 STG101F_V200.exe		 STG101S_V200.exe	
説明ページ	項 目	説明ページ	項 目
10 ページ	日付,時刻	10 ページ	日付,時刻
11 ページ	タイトル入力	12 ページ	タイトル入力
13 ページ	文字サイズ	14 ページ	文字サイズ
15 ページ	行間		
		16 ページ	ポジション
		17 ページ	垂直方向のオフセット
		18 ページ	スクロール速度
19 ページ	点滅	19 ページ	点滅
20 ページ	自動切換え	20 ページ	自動切換え
21 ページ	文字&縁取り色	21 ページ	文字&縁取り色
22 ページ	背景色ベタ塗り	22 ページ	背景色ベタ塗り
23 ページ	白黒レベル	23 ページ	白黒レベル
24 ページ	スケジュール	24 ページ	スケジュール
25 ページ	アラーム	25 ページ	アラーム
27 ページ	リモート	27 ページ	リモート
28 ページ	その他	28 ページ	その他
29 ページ	表示ページ	29 ページ	表示ページ
29 ページ	水平方向のオフセット		
30 ページ	センタリング		
31 ページ	消去時間	31 ページ	消去時間
32 ページ	フォント種類	32 ページ	フォント種類
33 ページ	外字挿入	33 ページ	外字挿入
34 ページ	外字一覧	34 ページ	外字一覧
37 ページ	全項目の設定	37 ページ	全項目の設定
37 ページ	機器のスレープアドレス	37 ページ	機器のスレープアドレス
37 ページ	メンテナンス	37 ページ	メンテナンス

## 専用ソフトの操作方法

### ●本体に送信

各シートで値を変更したら STG-101 本体に送信すると設定が反映されます。  
各シートには次の送信用ボタンが表示されていますので用途により使い分けてください。

#### 設定

項目の値だけを送信します。



#### ライン設定

10 行固定 (STG101F\_V200.exe) 使用時  
だけ表示します。  
選択中のラインの値だけを送信します。

#### ページ設定

選択中のページの値だけ (10 行すべて) を送  
信します。

#### 全設定

全ページの値を送信します。

#### 文字サイズ

Page 001  
Line01 = E-LARGE  
Line02 = LARGE  
Line03 = MEDIUM  
Line04 = SMALL  
Line05 = MEDIUM  
Line06 = MEDIUM  
Line07 = MEDIUM  
Line08 = MEDIUM  
.....

ライン設定

ページ設定

全設定

Close

**注意** ● ボタンをクリックせずに   などシートを閉じたときは STG-101 本体に送信されません。

### ●アンサーバック

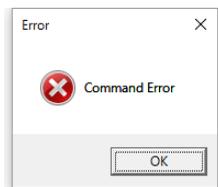
本体が正常に受信するとメッセージ“Success”等が表示されます。  
かならず“OK”をクリックしてください。

正常に受信されないときはエラーメッセージが表示されます。  
かならず“OK”をクリックしてください。

エラーは次の原因が考えられますので確認してください。

- ・ ケーブルが正常に結線されていない
- ・ STG-101 本体の電源が立ち上がっていない
- ・ メニュー表示中である (メニューを終了してください)
- ・ 設定範囲外の値が入力されている (各シートの説明で設定範囲を確認してください)

**注意** ● RS-485 経由で一斉送信 (Broadcast) したときは、アンサーバックは  
ありません。



# 専用ソフトの操作方法

## 1.日付,時刻

《共通》



日付・時刻の調整と画面表示を設定します。  
日付・時刻の表示位置は画面上部中央です。  
画面上部に 1 行スクロール表示のときだけ、  
日付・時刻は画面下部中央に表示されます。

### ●年,月,日,時,分,秒

現在の日付,時刻の設定をおこないます。  
年,月,日,時,分,秒を入力してそれぞれの

をクリックしてください。

### ●表示

日付・時刻を表示/非表示します。

値	表示
ON	表示する
OFF	表示しない

### ●表示サイズ

日付・時刻の表示サイズを設定します。

値	表示
NORMAL	中サイズ
LARGE	大サイズ

### ●表示範囲

日付・時刻の表示形式を設定します。

値	表示例
年月日時分秒	2019. 04. 28 14 : 46 : 59
年月日時分	2019. 04. 28 14 : 46
年月日	2019. 04. 28
月日時分秒	04. 28 14 : 46 : 59
月日時分	04. 28 14 : 46
月日	04. 28
時分秒	14 : 46 : 59
時分	14 : 46

### ●30秒補正

時計の30秒補正をおこないます。

クリック時、画面に表示されている秒の値	調整される時間
00~29(秒)	現在の分の00(秒)
30~59(秒)	1分進んで00(秒)

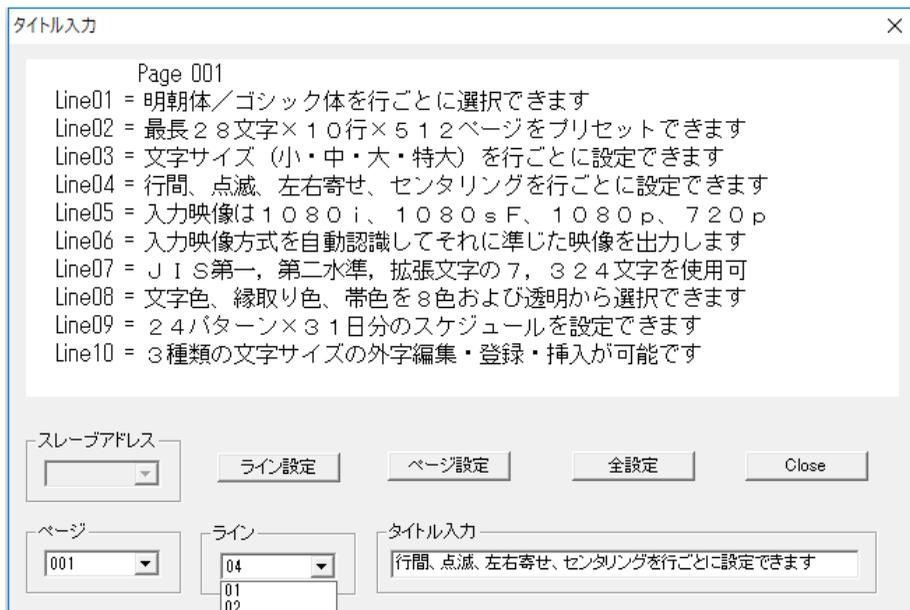


## 2.タイトル入力 2-1.10 行固定



《10 行固定》

STG101F\_V200.exe



### ●タイトル入力

タイトルを入力してプリセットします。

“ページ”に001～512を選択し、“ライン”に01～10を選択して、“タイトル”枠に文字を書き込みます。

1ラインにつき全角28文字まで書き込むことができます。

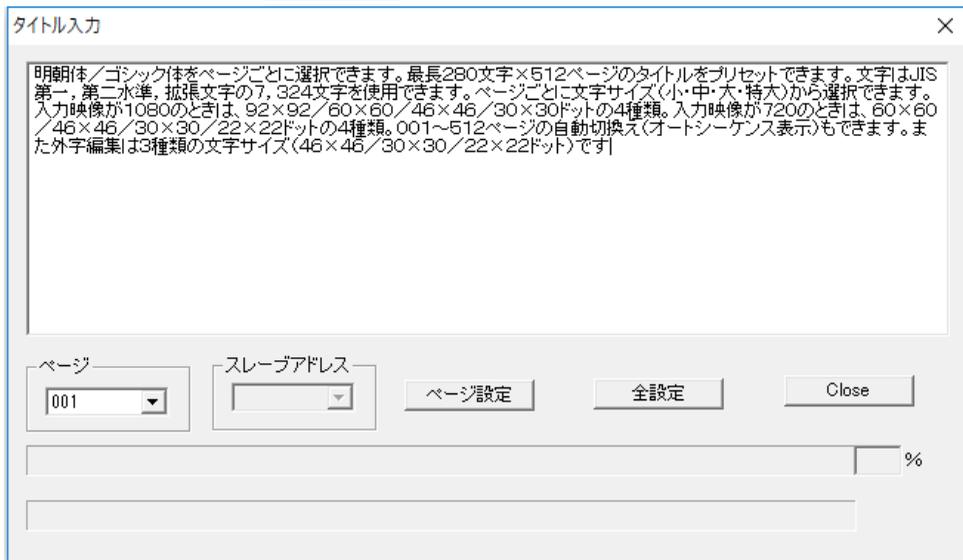
JIS 第一、第二水準＋拡張文字の7,324文字を使用できます。(JIS X0208-1990)

- 注意**
- 半角英数および半角カタカナは使用できません。スペースも全角を使用してください。
  - 文字サイズにより表示できる最大文字数が変わります。  
(13 ページ 3.文字サイズ 3-1.10 行固定 参照)
  - ページ設定および全設定は、空欄のラインおよびページがあると、その空欄も送信・上書きされてしまいますのでご注意ください。
  - タイトルの入力は専用ソフトのみ可能で、メニューではできません。
  - 映像入力端子に映像信号が入力されていない黒画面では、日時およびタイトル等が正常に表示されないことがあります。これは故障ではありませんので、かならず画面に映像を表示させてタイトルの設定・確認をするようにしてください。

### 2-2.1 行スクロール



≪ 1 行スクロール ≫



#### ●タイトル入力

タイトルを入力してプリセットします。

“ページ”に 001～512 を選択してから、枠内に文字を書き込みます。

1 ページにつき全角 280 文字まで書き込むことができます。

JIS 第一、第二水準＋拡張文字の 7,324 文字を使用できます。(JIS X0208-1990)

- 注意**
- 半角英数および半角カタカナは使用できません。スペースも全角を使用してください。
  - 文字サイズにより表示できる最大文字数が変わります。  
(14 ページ 3.文字サイズ 3-2.1 行スクロール 参照)
  - 全設定は空欄のページがあると、その空欄も送信・上書きされてしまいますのでご注意ください。
  - タイトルの入力は専用ソフトのみ可能で、メニューではできません。
  - 映像入力端子に映像信号が入力されていない黒画面では、日時およびタイトル等が正常に表示されないことがあります。これは故障ではありませんので、かならず画面に映像を表示させてタイトルの設定・確認をするようにしてください。

## 3.文字サイズ

### 3-1. 10行固定

タイトルページごとに各ラインの文字サイズを設定します。



≪ 10行固定 ≫

STG101F\_V200.exe

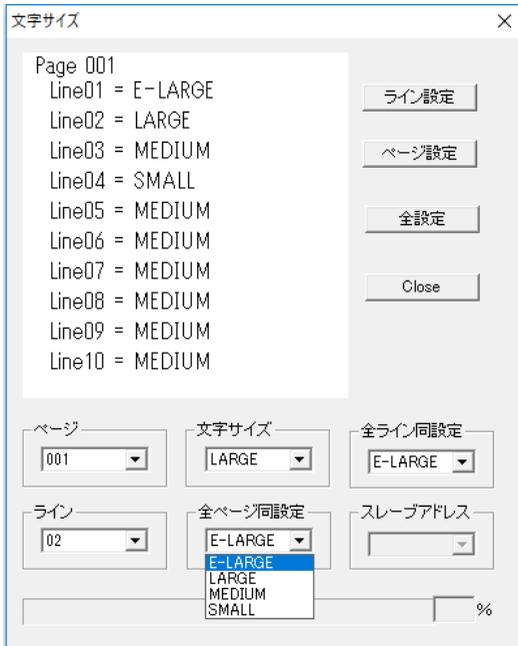
- 注意**
- 入力される映像フォーマットにより、文字サイズ、文字数、表示範囲が変わります。  
(STG-101 取扱説明書(本編) 11 ページ ■映像フォーマットと文字サイズ 参照)
  - 日時表示のサイズは変更しません。

サイズ	入力映像フォーマット			
	1080i,1080p,1080sF		720p	
E-LARGE	92×92 ドット	20 文字まで	60×60 ドット	20 文字まで
LARGE	60×60 ドット	28 文字まで	46×46 ドット	20 文字まで
MEDIUM	46×46 ドット	28 文字まで	30×30 ドット	28 文字まで
SMALL	30×30 ドット	28 文字まで	22×22 ドット	28 文字まで

“ページ” に 001～512 を選択し、“ライン” に 01～10 を選択して、“文字サイズ” を選択します。

“全ライン同設定” は、選択しているページの 10 行すべてを同じサイズにします。

“全ページ同設定” は、全ページの 10 行すべてを同じサイズにします。



## 専用ソフトの操作方法

### 3-2.1 行スクロール

タイトルページごとに文字サイズを設定します。



《1 行スクロール》

STG101S\_V200.exe

- 注意**
- 入力される映像フォーマットにより、文字サイズ、文字数、表示範囲が変わります。  
(STG-101 取扱説明書(本編) 11 ページ ■映像フォーマットと文字サイズ 参照)
  - 日時表示のサイズは変更しません。

サイズ	入力映像フォーマット			
	1080i,1080p,1080sF		720p	
E-LARGE	92×92 ドット	200 文字まで	60×60 ドット	200 文字まで
LARGE	60×60 ドット	280 文字まで	46×46 ドット	200 文字まで
MEDIUM	46×46 ドット	280 文字まで	30×30 ドット	280 文字まで
SMALL	30×30 ドット	280 文字まで	22×22 ドット	280 文字まで



“ページ” に 001～512 を選択し、“文字サイズ” を選択します。

“全ページ同設定” は、全ページを同じサイズにします。

### 4.行間(10行固定)

※この項目は10行固定のときだけの設定です。  
タイトルページごとに各ラインの行間を設定します。



<< 10行固定 >>

STG101F\_V200.exe

“ページ”に001～512を選択し、“ライン”に01～10を選択して、“行間”を選択します。

“全ライン同設定”は、選択しているページの10行すべてを同じ行間にします。

“全ページ同設定”は、全ページの10行すべてを同じ行間にします。

行間

Page 001  
Line01 = 00  
Line02 = 26  
Line03 = 00  
Line04 = 00  
Line05 = 17  
Line06 = 00  
Line07 = 00  
Line08 = 00  
Line09 = 00  
Line10 = 00

ライン設定  
ページ設定  
全設定  
Close

ページ: 001  
行間: 17  
全ライン同設定: 00  
ライン: 05  
全ページ同設定: 00  
スレーブアドレス:   
%

## 専用ソフトの操作方法

### 5.ポジション(1行スクロール)

※この項目は1行スクロールのときだけの設定です。  
タイトルページごとにポジションを設定します。

《1行スクロール》



ポジション

P001 BOTTOM	P009 BOTTOM	P017 BOTTOM	P025 BOTTOM
P002 BOTTOM	P010 BOTTOM	P018 BOTTOM	P026 BOTTOM
P003 BOTTOM	P011 BOTTOM	P019 BOTTOM	P027 BOTTOM
P004 BOTTOM	P012 BOTTOM	P020 BOTTOM	P028 BOTTOM
P005 BOTTOM	P013 BOTTOM	P021 BOTTOM	P029 BOTTOM
P006 BOTTOM	P014 BOTTOM	P022 BOTTOM	P030 BOTTOM
P007 BOTTOM	P015 BOTTOM	P023 BOTTOM	P031 BOTTOM
P008 BOTTOM	P016 BOTTOM	P024 BOTTOM	P032 BOTTOM

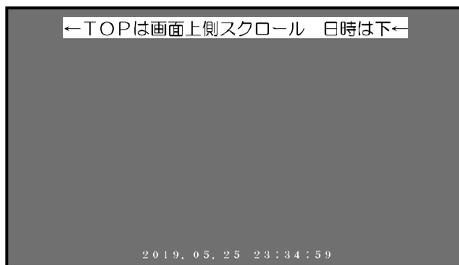
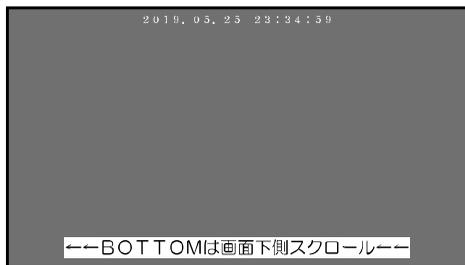
ページ設定  
全設定

ページ: 001  
ポジション: BOTTOM (TOP, BOTTOM)  
全ページ同設定: BOTTOM  
スレーブアドレス:   
Close

“ページ”に001～512を選択してから、“ポジション”を選択します。

“全ページ同設定”は全ページのポジションを設定します。

値	表示
TOP	上行に表示する
BOTTOM	下行に表示する



## 専用ソフトの操作方法

### 6. 垂直方向のオフセット(1行スクロール)

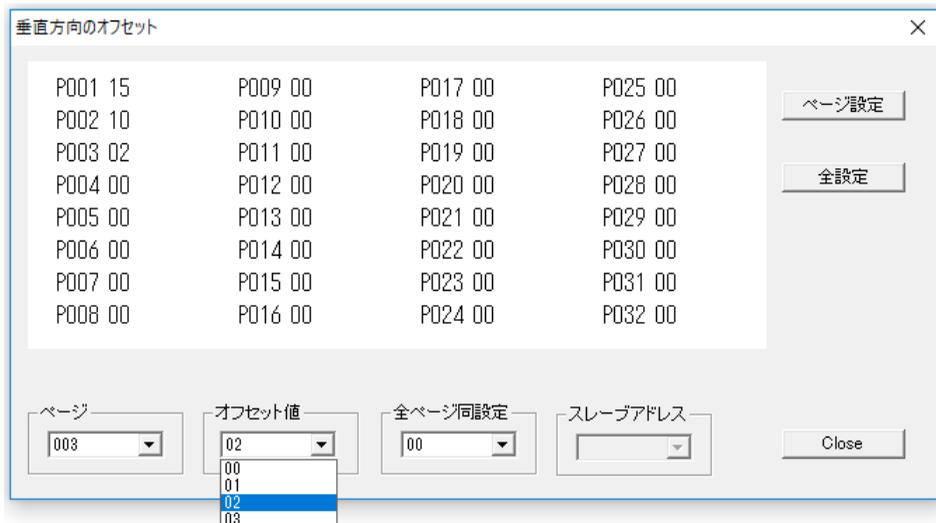
※この項目は1行スクロールのときだけの設定です。

タイトルページごとにスクロール表示位置を垂直方向に微調整します。

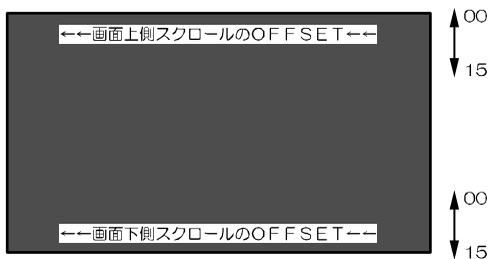


STG101S\_V200.exe

《1行スクロール》



“ページ”に001～512を選択してから、“オフセット値”を選択します。  
“全ページ同設定”は全ページの表示位置を同じオフセット値に設定します。  
設定値は00～15の16段階です。



7.スクロール速度(1行スクロール)

※この項目は 1 行スクロールのときだけの設定です。  
 タイトルページごとにスクロール速度を設定します。



《1 行スクロール》

スクロール速度の設定 ×

P001 3	P009 3	P017 3	P025 3
P002 3	P010 3	P018 3	P026 3
P003 4	P011 3	P019 3	P027 3
P004 3	P012 3	P020 3	P028 3
P005 1	P013 3	P021 3	P029 3
P006 2	P014 3	P022 3	P030 3
P007 3	P015 3	P023 3	P031 3
P008 3	P016 3	P024 3	P032 3

ページ

速度  


1  
**2**  
 3  
 4

全ページ同設定

スレーブアドレス

Close

ページ設定

全設定

“ページ” に 001～512 を選択してから、“速度” を選択します。

“全ページ同設定” は全ページのスクロール速度を設定します。

設定値は 1～4 の 4 段階です。

値	1	2	3	4
速度	遅い	←	→	速い

## 専用ソフトの操作方法

### 8.点滅

#### 8-1. 10行固定

タイトルページごとに各ラインの点滅を設定します。



《10行固定》

“ページ”に001～512を選択し、“ライン”に01～10を選択して、“点滅 ON/OFF”を選択します。

“全ライン同設定”は、選択しているページの10行すべてを同じ設定にします。

“全ページ同設定”は、全ページの10行すべてを同じ設定にします。

点滅

Page 001  
Line01 = ON  
Line02 = OFF  
Line03 = OFF  
Line04 = OFF  
Line05 = OFF  
Line06 = OFF  
Line07 = OFF  
Line08 = OFF  
Line09 = OFF  
Line10 = OFF

ライン設定  
ページ設定  
全設定  
Close

ページ: 001  
点滅ON/OFF: ON  
全ライン同設定: OFF  
ライン: 01  
全ページ同設定: OFF  
スレーブアドレス: %

#### 8-2. 1行スクロール

タイトルページごとに点滅を設定します。



《1行スクロール》

点滅

P001 ON	P009 OFF	P017 OFF	P025 OFF
P002 OFF	P010 OFF	P018 OFF	P026 OFF
P003 OFF	P011 OFF	P019 OFF	P027 OFF
P004 OFF	P012 OFF	P020 OFF	P028 OFF
P005 OFF	P013 OFF	P021 OFF	P029 OFF
P006 OFF	P014 OFF	P022 OFF	P030 OFF
P007 OFF	P015 OFF	P023 OFF	P031 OFF
P008 OFF	P016 OFF	P024 OFF	P032 OFF

ページ設定  
全設定  
Close

ページ: 001  
点滅ON/OFF: OFF  
全ページ同設定: OFF  
スレーブアドレス: %

“ページ”に001～512を選択し、“点滅 ON/OFF”を選択します。

“全ページ同設定”は、全ページを同じ設定にします。

## 9.自動切換え

### 9-1. 10 行固定

タイトルページごとに自動切換の表示時間を設定します。

◀ 10 行固定 ▶



自動切換え

P001 = 47 秒	P009 = 03 秒	P017 = 03 秒	P025 = 03 秒
P002 = 03 秒	P010 = 03 秒	P018 = 03 秒	P026 = 03 秒
P003 = 03 秒	P011 = 03 秒	P019 = 03 秒	P027 = 03 秒
P004 = 03 秒	P012 = 03 秒	P020 = 03 秒	P028 = 03 秒
P005 = 03 秒	P013 = 03 秒	P021 = 03 秒	P029 = 03 秒
P006 = 03 秒	P014 = 03 秒	P022 = 03 秒	P030 = 03 秒
P007 = 03 秒	P015 = 03 秒	P023 = 03 秒	P031 = 03 秒
P008 = 03 秒	P016 = 03 秒	P024 = 03 秒	P032 = 03 秒

ページ

001

時間(秒)

47

46

47

48

全ページ同設定

03

スレープアドレス

ページ設定

全設定

Close

“ページ” に 001~512 を選択し、“時間(秒)” に 00~99 を選択します。  
00 は、そのページをスキップします。

“全ページ同設定” は、全ページの表示時間を同じ設定にします。

**注意** ●全ページ 00 秒は設定できません。

### 9-2. 1 行スクロール

タイトルページごとに自動切換の表示/スキップを設定します。

◀ 1 行スクロール ▶



自動切換え

P001 SKIP	P009 LIVE	P017 LIVE	P025 LIVE
P002 LIVE	P010 LIVE	P018 LIVE	P026 LIVE
P003 LIVE	P011 LIVE	P019 LIVE	P027 LIVE
P004 LIVE	P012 LIVE	P020 LIVE	P028 LIVE
P005 LIVE	P013 LIVE	P021 LIVE	P029 LIVE
P006 LIVE	P014 LIVE	P022 LIVE	P030 LIVE
P007 LIVE	P015 LIVE	P023 LIVE	P031 LIVE
P008 LIVE	P016 LIVE	P024 LIVE	P032 LIVE

ページ

001

自動切換え

SKIP

SKIP

LIVE

全ページ同設定

LIVE

スレープアドレス

ページ設定

全設定

Close

“ページ” に 001~512 を選択し、“自動切換え” の SKIP/LIVE を選択します。

“全ページ同設定” は、全ページを同じ設定にします。

**注意** ●全ページ SKIP は設定できません。

## 10.文字&縁取り色

### 10-1.10行固定

タイトルページごとに各ラインの文字色と縁取り色を設定します。  
 黒/赤/緑/黄/青/マゼンタ/シアン/白/ブランクをそれぞれ設定できます。  
 ※白および黒を選択したときは、明るさを5段階に設定できます。

《10行固定》

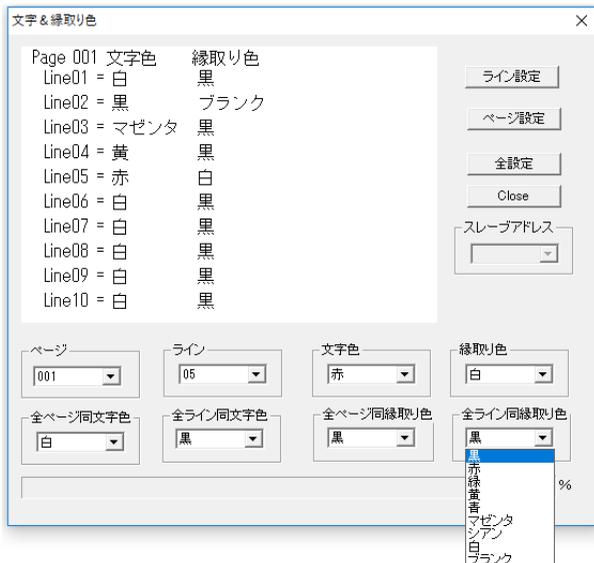


(23 ページ 12.白黒レベル 参照)

“ページ”に001~512を選択し、“ライン”に01~10を選択して、“文字色”“縁取り色”を選択します。

“全ライン同文字色”“全ライン同縁取り色”は、選択しているページの10行すべてを同じ色にします。

“全ページ同文字色”“全ページ同縁取り色”は、全ページの10行すべてを同じ色にします。



### 10-2.1行スクロール

タイトルページごとに文字色と縁取り色を設定します。

黒/赤/緑/黄/青/マゼンタ/シアン/白/ブランクをそれぞれ設定できます。

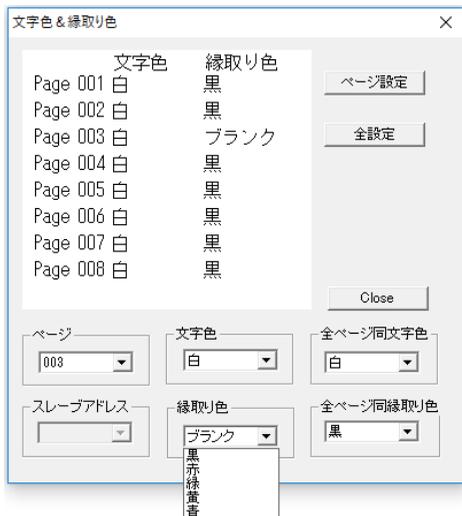
※白および黒を選択したときは、明るさを5段階に設定できます。

(23 ページ 12.白黒レベル 参照)

“ページ”に001~512を選択し、“文字色”“縁取り色”を選択します。

“全ページ文字色”“全ページ同縁取り色”は、全ページを同じ色にします。

《1行スクロール》



## 11. 背景色ベタ塗り

### 11-1. 10行固定

タイトルページごとに各ラインの背景色ベタ塗りの表示/非表示を設定します。

背景色は **10.文字&縁取り色** で設定した縁取り色となります。

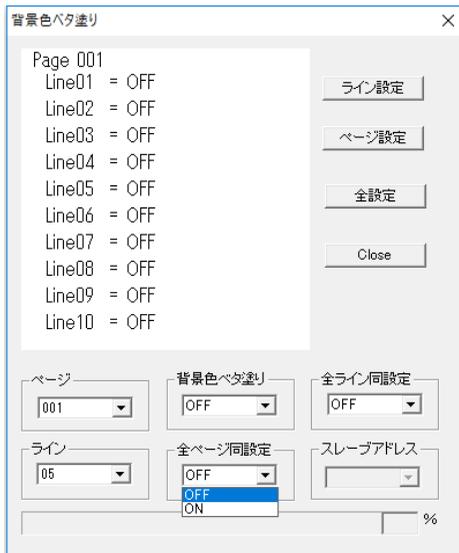
≪ 10行固定 ≫

(前ページ **10.文字&縁取り色** 参照)

“ページ” に 001~512 を選択し、“ライン” に 01~10 を選択して、“背景色ベタ塗り” で ON/OFF を選択します。

“全ライン同設定” は、選択しているページの 10 行すべてを同じ設定にします。

“全ページ同設定” は、全ページの 10 行すべてを同じ設定にします。



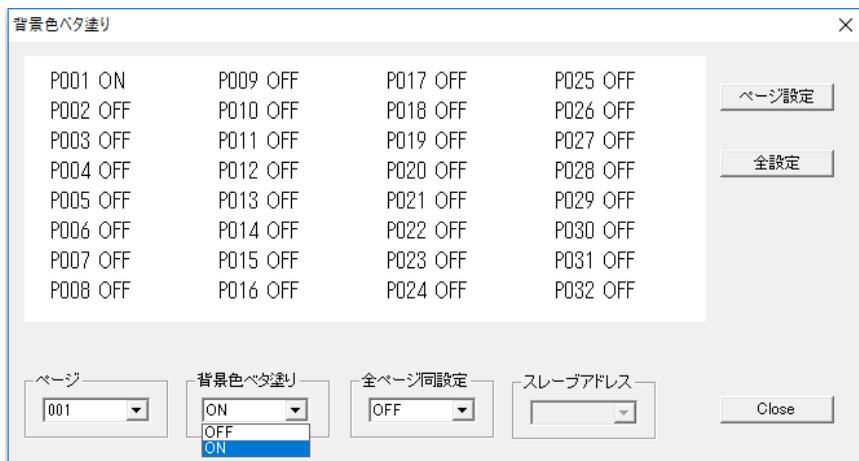
### 11-2. 1行スクロール

タイトルページごとに背景色ベタ塗りの表示/非表示を設定します。

背景色は **10.文字&縁取り色** で設定した縁取り色となります。

≪ 1行スクロール ≫

(前ページ **10.文字&縁取り色** 参照)



“ページ” に 001~512 を選択し、“背景色ベタ塗り” で ON/OFF を選択します。

“全ページ同設定” は、全ページを同じ設定にします。

## 12. 白黒レベル



《共通》

タイトルページごとに文字の白と黒の明るさをそれぞれ 5 段階(0~4)に設定します。

**注意** ●文字色と縁取り色が、白、黒以外のときは設定が反映されません。  
(21 ページ **10. 文字&縁取り色** 参照)



“ページ” に 001~512 を選択し、“白レベル” “黒レベル” で値を選択します。  
“全ページ同白レベル” “全ページ同黒レベル” は、全ページを同じ設定にします。

値	0 ←—————▶ 4
文字の明るさ	暗い ←—————▶ 明るい

## 専用ソフトの操作方法

### 13.スケジュール



◀共通▶

指定した日に設定したパターンを自動で表示するようにスケジュールを設定します。  
パターンとは、時刻とページの組み合わせです。1日に対して24パターン(種類)を設定できます。

- 注意**
- パターン01～24にはスケジュールが重複しないようにしてください。
  - メニュー表示中およびアラーム動作中は、スケジュールが実行されません。

スケジュール

時	分	ページ	時	分	ページ	時	分	ページ			
01	=	09:45	P002	09	=	08:00	----	17	=	16:00	----
02	=	12:00	PAS	10	=	09:00	----	18	=	17:00	----
03	=	16:45	P007	11	=	10:00	----	19	=	18:00	----
04	=	05:00	----	12	=	11:00	----	20	=	19:00	----
05	=	04:00	----	13	=	12:00	----	21	=	20:00	----
06	=	05:00	----	14	=	13:00	----	22	=	21:00	----
07	=	06:00	----	15	=	14:00	----	23	=	22:00	----
08	=	07:00	----	16	=	15:00	----	24	=	23:00	----

日設定  
全設定  
Close  
スレーブアドレス  
日ページクリア

日: 01 | パターン番号: 03 | 時: 16 | 分: 45 | ページ: 007

01  
02  
03  
04  
05  
06

“日”に設定したい日付01～31を選択します。

“パターン番号”に01～24を選択し、“時”“分”“ページ”を設定します。

ページの値	動作
001～512	001～512のタイトルページを表示する
PAS	001～512のタイトルページを自動切換え(オートシーケンス)表示する
----	スケジュールは設定されていない

**日設定**をクリックすると、選択中の“日”のパターンだけ本体に送信します。

**日ページクリア**をクリックすると、選択中の“日”だけ、全パターンの“ページ”を“----”に戻します。

“時”“分”は戻りません。選択中以外の“日”も戻りません。

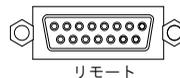
## 専用ソフトの操作方法

### 14. アラーム



◀共通▶

背面のアラーム/リモート信号入力カコネクターをアラームとして使用するときの動作を設定します。



- 注意**
- この項目は、リモートに設定されているときは選択不可となります。(28 ページ **16.その他** 参照)
  - メニュー表示中は、信号入力を受け付けません。

**アラーム** ×

<b>モード</b> Internal ▼ 設定	<b>保持時間</b> 010 設定	<b>入力極性</b> Make ▼ 設定	<b>コネクター番号割り付け</b> No.1 001 ▼ No.2 512 ▼ No.3 040 ▼ No.4 004 ▼ No.5 005 ▼ No.6 006 ▼ No.7 007 ▼ No.8 008 ▼ 設定
<b>表示</b> ON ▼ 設定	<b>リターン</b> ON ▼ 設定	<b>スレーブアドレス</b> ▼ Close	

#### ●モード

アラーム動作の保持モードを設定します。

値	動作
Internal	“保持時間”で設定した時間、アラーム動作を保持する
External	センサー等が入力されている間、アラーム動作を保持する

#### ●保持時間

アラーム動作の保持時間を 003～999(秒)の間で設定します。

※002(秒)以下の設定はできません。

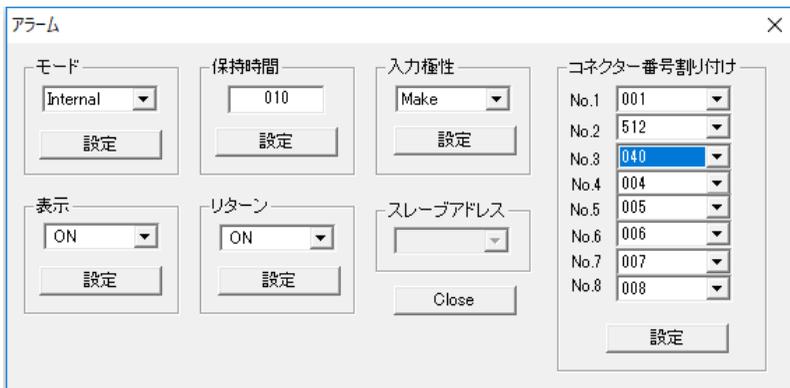
※“モード”が“Internal”のとき有効です。

#### ●入力極性

アラーム入力信号の検出点を設定します。

値	動作
Make	ノーマル オープン センサー等が閉じたとき検出
Break	ノーマル クローズ センサー等が開いたとき検出

※“モード”が“Internal”のとき有効です。



## ●表示

アラーム動作中、“ALARM”の表示を設定します。

値	表示
ON	アラーム動作中、指定したタイトルページを表示し、さらに“ALARM”を表示する
OFF	アラーム動作中、指定したタイトルページを表示するのみで“ALARM”は表示しない



## ●リターン

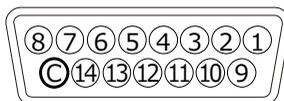
アラーム動作解除後のタイトル表示を設定します。

値	表示
ON	アラーム前のタイトルページ表示に戻る
OFF	アラーム入力があったタイトルページのまま

## ●コネクター番号割り付け

アラーム/リモート信号入力コネクターのピン番号 1～8 とタイトルページ 001～512 の組み合わせを設定します。

アラーム信号が 1～8 ピンに入力されると、ここで設定したタイトルページが映像に表示されます。



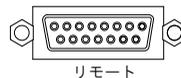
## 専用ソフトの操作方法

### 15. リモート



《共通》

背面のアラーム/リモート信号入力コネクタをリモートとして使用するときの動作を設定します。



- 注意**
- この項目は、アラームに設定されているときは選択不可となります。(28 ページ **16.その他** 参照)
  - メニュー表示中は、信号入力を受け付けません。



#### ●モード

1～8 ピンへの信号の入力方式を設定します。

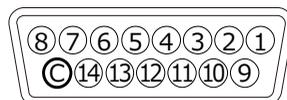
値	動作
BINARY	ピン番号 1～10 のバイナリー コードの入力で、001～512 ページを表示する (取扱説明書(本編)7 ページ ● <b>バイナリー モード</b> 参照)
BIT	ピン番号 1～8 の 1 つのピンに対して 1 ページずつ表示する 次項 ● <b>コネクタ番号割り付け</b> で組み合わせを設定する
OPE.	ピン番号 1～12 の入力で、文字色、縁取り色を変える。 (取扱説明書(本編)7 ページ ● <b>オペレーション モード</b> 参照)

#### ●コネクタ番号割り付け

前項の●**モード**で“BIT”を選択したときの設定項目です。

アラーム/リモート信号入力コネクタのピン番号 1～8 とタイトルページ 001～512 の組み合わせを設定します。

リモート信号が 1～8 ピンに入力されると、ここで設定したタイトルページが映像に表示されます。



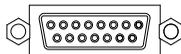
## 16.その他

◀共通▶



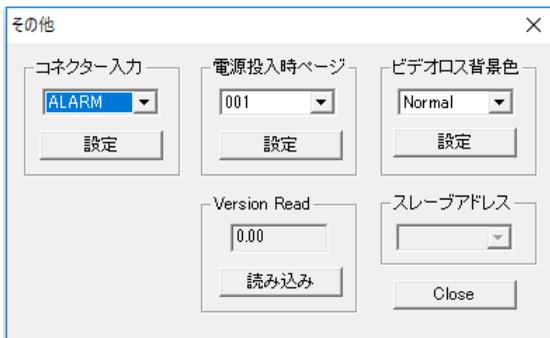
### ●コネクター入力

背面のアラーム/リモート信号入力端子の用途を設定します。



リモート

値	用途
ALARM	アラームとして使用
REMOTE	リモートとして使用



### ●電源投入時ページ

電源を入れたときに表示させるタイトルページを設定します。

値	動作
001~512	001~512 のタイトルページを表示する
PAS	001~512 のタイトルページを自動切換え(オート シーケンス)表示する

### ●ビデオロス背景色

映像入力端子に映像が入力されないときの画面表示色を設定します。

値	表示
Blue	青画面を表示する
Normal	黒画面を表示する

### ●Version Read

“読み込み” をクリックすると本体の CPU バージョンを表示します。

## 専用ソフトの操作方法

### 17.表示ページ



#### ●ページ

表示させるタイトルページを設定します。

値	表示
001~512	001~512 のタイトルページを表示する
PAS	001~512 のタイトルページを自動切換え(オート シーケンス)表示する

#### ●表示 ON/OFF

タイトル・日時を表示/非表示します。

値	表示
ON	タイトル・日時を表示する
OFF	タイトル・日時を表示しない

※機器前面部の▶ボタンでの表示/非表示もできます。

(取扱説明書(本編)10ページ ■フロント ボタン操作 参照)

### 18.水平方向のオフセット(10行固定)

※この項目は 10 行固定のときだけの設定です。

タイトルページごとに各ラインの水平方向の位置を設定します。

« 10 行固定 »

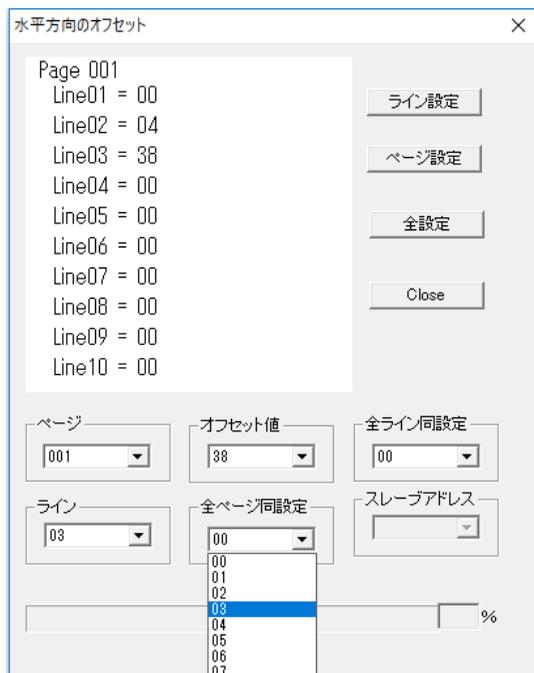


“ページ”に 001~512 を選択し、“ライン”に 01~10 を選択して、“オフセット値”を選択します。

設定値は 00~38 の 39 段階です。

“全ライン同設定”は、選択しているページの 10 行すべてを同じオフセット値にします。

“全ページ同設定”は、全ページの 10 行すべてを同じオフセット値にします。



## 19.センタリング表示(10行固定)

※この項目は10行固定のときだけの設定です。  
 タイトルページごとに各ラインの表示位置を設定します。

◀ 10行固定 ▶



“ページ”に001～512を選択し、“ライン”に01～10を選択して、“センタリング”で値を選択します。

値	表示
LEFT	左寄せ
CENTER	センタリング
RIGHT	右寄せ

“全ライン同設定”は、選択しているページの10行すべてを同じ表示位置にします。

“全ページ同設定”は、全ページの10行すべてを同じ表示位置にします。

センタリング
✕

Page 001

Line01 = LEFT

Line02 = LEFT

Line03 = CENTER

Line04 = CENTER

Line05 = RIGHT

Line06 = RIGHT

Line07 = LEFT

Line08 = LEFT

Line09 = LEFT

Line10 = LEFT

ライン設定

ページ設定

全設定

Close

ページ

001

センタリング

RIGHT

全ライン同設定

LEFT

ライン

06

全ページ同設定

LEFT

LEFT

CENTER

RIGHT

スレーブアドレス

%

## 専用ソフトの操作方法

### 20.消去時間

#### 20-1.10行固定

タイトルページごとに各ラインの消去時間を設定します。

《10行固定》

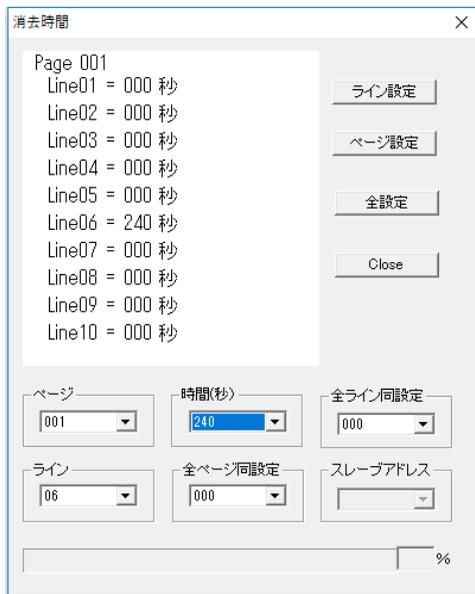


STG101F\_V200.exe

“ページ”に001～512を選択し、“ライン”に01～10を選択して、“時間(秒)”000～240(秒)を選択します。

“全ライン同設定”は、選択しているページの10行すべてを同じ消去時間にします。

“全ページ同設定”は、全ページの10行すべてを同じ消去時間にします。



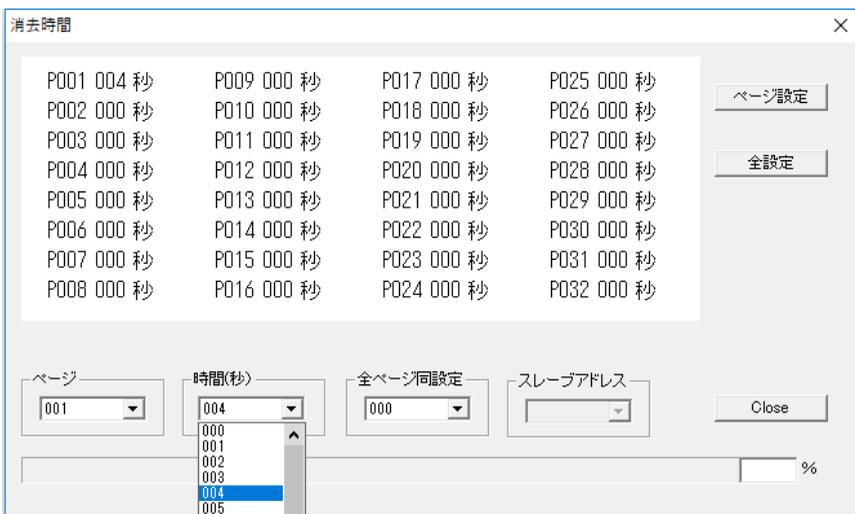
#### 20-2.1行スクロール

タイトルページごとに消去時間を設定します。

《1行スクロール》



STG101S\_V200.exe



“ページ”に001～512を選択し、“時間(秒)”000～240(秒)を選択します。

“全ページ同設定”は、全ページを同じ消去時間にします。

## 21. フォント種類

### 21-1. 10行固定

タイトルページごとに各ラインのフォント種類を設定します。

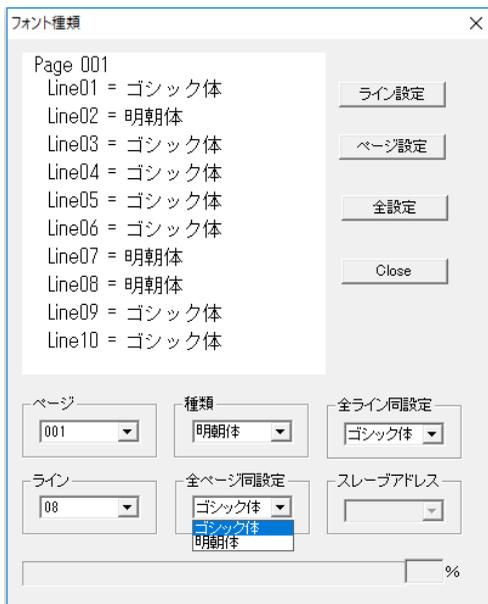
**注意** ●日時表示の書体は変更しません。

“ページ”に001~512を選択し、“ライン”に01~10を選択して、“種類”にゴシック体/明朝体を選択します。

“全ライン同設定”は、選択しているページの10行すべてを同じ設定にします。

“全ページ同設定”は、全ページの10行すべてを同じ設定にします。

≪10行固定≫



### 21-2. 1行スクロール

タイトルページごとにフォント種類を設定します。

**注意** ●日時表示の書体は変更しません。

≪1行スクロール≫



“ページ”に001~512を選択し、“種類”ゴシック体/明朝体を選択します。

“全ページ同設定”は、全ページを同じ設定にします。

## 専用ソフトの操作方法

### 22.外字挿入

登録した外字を挿入します。

外字を挿入したいページおよびタイトルをディスプレイに表示させておいてください。

**注意** ●挿入先の入力映像の**映像フォーマット**と、タイトルの**文字サイズ**を確認して、タイトルに挿入できる外字を選択してください。

(STG-101 取扱説明書(本編) 11 ページ ■**映像フォーマットと文字サイズ** 参照)

(STG-101 取扱説明書(本編) 29 ページ **8-5. VIDEO SIGNAL** 参照)

●タイトルページの自動切換え中は外字を挿入しないでください。

#### 22-1.10 行固定



《10 行固定》

外字挿入

ページ: 001 | フォント サイズ: LARGE | ライン: 08 | 設定

外字登録番号: 001 | 挿入位置: 01 | スレーブアドレス: | Close

“ページ”に001～512を選択して、“フォント サイズ”LARGE/MEDIUM/SMALLを選択します。

“外字登録番号”を選択します。

“ライン”1～10を選択して、“挿入位置”を選択します。

挿入位置は、各タイトルの左端から順に、01,02,03…です。

設定ボタンをクリックすると本体に送信・保存します。

#### 22-2.1 行スクロール



《1 行スクロール》

外字挿入

ページ: 001 | フォント サイズ: LARGE | 設定

外字登録番号: 001 | 挿入位置: 001 | スレーブアドレス: | Close

“ページ”に001～512を選択して、“フォント サイズ”LARGE/MEDIUM/SMALLを選択します。

“外字登録番号”を選択します。

“挿入位置”を選択します。挿入位置は、タイトルの左端から順に、001,002,003…です。

設定ボタンをクリックすると本体に送信・保存します。

## 23.外字一覧

JIS 第一、第二水準+拡張文字の 7,324 文字以外の文字を作成して登録することができます。



《共通》

### ●外字の作成,登録手順

**注意** ●タイトルページの自動切換え中は外字の操作をしないでください。

①外字を作成する文字サイズを選択します。

外字を挿入したいタイトルの画面および文字サイズによって、作成する外字の文字サイズは変わります。



挿入したい画面の**入力映像フォーマット①**と挿入するタイトルの**文字サイズ②**を下表で確認してから外字一覧(小文字/中文字/大文字)を選んで作成してください。

入力映像フォーマットは本体のメニューでも調べることができます。

(取扱説明書(本編)29 ページ **8-5. VIDEO SIGNAL** 参照)

	1080 サイズ①	720 サイズ ①
<b>E-LARGE ②</b>	92×92 外字登録大文字(46×46)を作成	60×60 外字登録中文字(30×30)を作成
<b>LARGE ②</b>	60×60 外字登録中文字(30×30)を作成	46×46 外字登録大文字(46×46)を作成
<b>MEDIUM ②</b>	46×46 外字登録大文字(46×46)を作成	30×30 外字登録中文字(30×30)を作成
<b>SMALL ②</b>	30×30 外字登録中文字(30×30)を作成	22×22 外字登録小文字(22×22)を作成

②外字一覧を表示します。

“番号切り替え”のプルダウン リストから登録番号を選択してください。

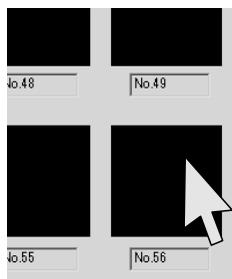
外字サイズ	ドット	登録番号
大文字	46×46	No.1~No.70
中文字	30×30	No.1~No.160
小文字	22×22	No.1~No.256



## 専用ソフトの操作方法

### ③登録番号を選択します。

編集したい登録番号にポインターを合わせ、ダブルクリックします。



左ダブルクリック  
④外字の編集画面へ

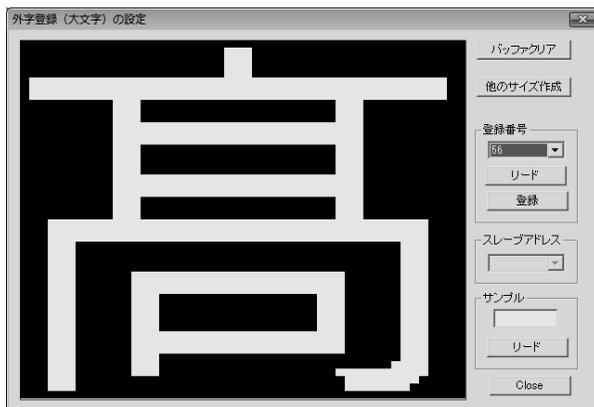
右ダブルクリック  
BMP ファイル作成  
記録用などに使用可



### ④編集エリアに外字を描きます。

左クリックすると白塗りし、右クリックすると塗りを消去します。1列の線は鮮明に表示されにくいので、できるだけ3列以上の塗りで線を描くようにしてください。一番外側の枠は塗ることはできません。

### ⑤“登録番号”を確認して“登録”ボタンをクリックすると外字が本体に転送・保存されます。



**注意** ●転送・保存中はスクロール表示が停止します。

●外字挿入をするまでタイトルには外字が表示されません。(33 ページ **22.外字挿入** 参照)

### ⑥別の登録番号と外字を登録する場合は、①～④を繰り返してください。

同じ登録番号で登録すると後から登録した外字が上書きされます。

### ⑦“Close” ボタンをクリックして終了します。

### ⑧作成した外字をパソコンにファイルで保存する場合は、外字一覧で“名前を付けて保存” ボタンをクリックし、任意の場所に名前を付けて保存してください。

保存したファイルの拡張子は、大文字:TLL 中文字:TLM 小文字:TLS です。

保存したファイルをまた開いて編集する場合は、外字一覧で“開く” ボタンをクリックします。

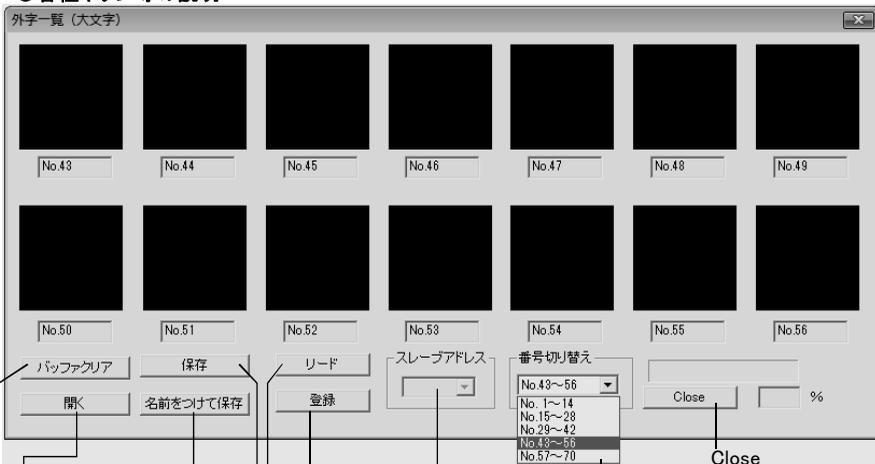
“保存” で同じファイルに上書き保存します。



### ⑨“Close” ボタンをクリックして終了します。

## 専用ソフトの操作方法

### ●各種ボタン等の説明



**名前をつけて保存**  
すべての登録番号の外字を PC に名前をつけて保存します

**開く**  
PC に保存したファイルを開きます

**登録**  
すべての登録番号の外字を STG-101 本体に登録します

**リード**  
STG-101 本体に登録された外字を読み込みます

**保存**  
開いているファイルを PC に書き保存します

**番号切り替え**  
サンプル表示の登録番号を切り替えます

**スレーブアドレス**  
RS-485 使用時に STG-101 の号機を指定して通信します

**Close**  
画面を閉じます

**バックファリア**  
外字一覧すべての登録番号の外字を消去します  
登録、保存されていない外字データは元にもどりません

**バックファリア**  
編集エリアの塗りを消去します  
登録、保存されていない外字データは元にもどりません

**他のサイズ作成**  
編集中の外字を他の 2 サイズの同じ登録番号に書き作成します  
ただし、同じ登録番号がない場合は作成しません

**登録番号**  
読み込んだり登録したりする登録番号を選択して指定します

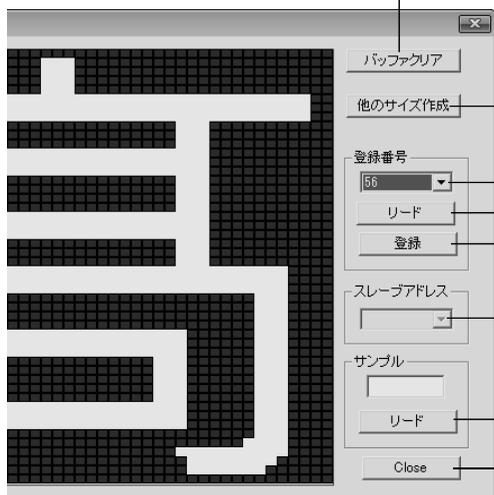
**リード**  
STG-101 本体の指定した登録番号に登録されている外字を編集エリアに読み込みます

**登録**  
STG-101 本体の指定した登録番号に編集中の外字を登録します

**スレーブアドレス**  
RS-485 使用時に STG-101 の号機を指定します

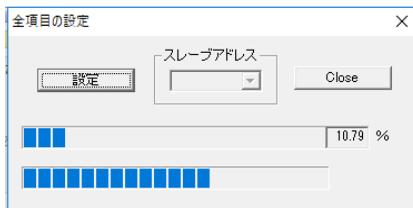
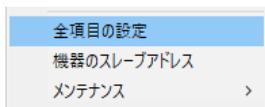
**サンプル, リード**  
枠に入力した全角 1 文字を STG-101 本体から編集エリアに読み込みます

**Close**  
画面を閉じます



## 専用ソフトの操作方法

### 24.全項目の設定



専用ソフトで設定した内容を一括で本体に送信します。  
“設定”をクリックすると本体に送信して設定します。  
送信には時間がかかります。

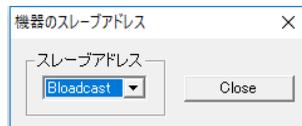
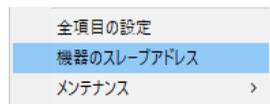
**注意** ●タイトルが自動切替え動作中は全項目の設定はできません。

### 25.機器のスレーブ アドレス

インターフェイスでRS-485の使用を設定したときだけ有効になります。  
(5 ページ ●RS-232C/485 の設定 参照)

通信したいSTG-101の号機(00~31,Broadcast)を一括で指定することにより、各設定画面の“スレーブアドレス”の項目にあらかじめ号機(00~31,Broadcast)が入力された状態になります。

**注意** ●RS-232C と RS-485 を同時に使用することはできません。

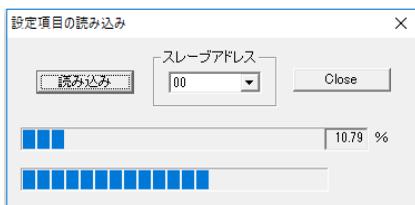


### 26.メンテナンス (設定項目の読み込み)

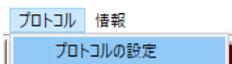


本体の設定内容を専用ソフトに読み込みます。  
“読み込み”をクリックすると本体から専用ソフトに読み込みます。読み込みには時間がかかります。

**注意** ●タイトルが自動切替え動作中は設定項目の読み込みはできません。



## ■プロトコル

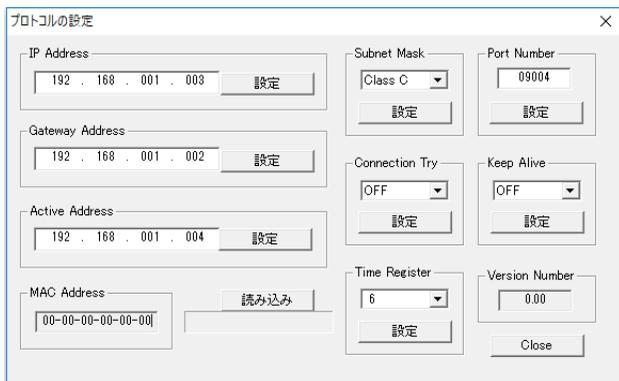


イーサネット経由で本機を操作する準備として、各STG-101本体のアドレス等を設定します。

この設定は、パソコンと本体をかならずRS-232C経由で接続しておこなってください。

(4 ページ ■インターフェイス 参照)

メニューバー“プロトコル”から“プロトコルの設定”をクリックするとシートが表示されます。



### ● IP Address

STG-101 本体のローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。

## 専用ソフトの操作方法

### ● Gateway Address

STG-101 本体のデフォルト ゲートウェイを設定します。

- STG-101 本体をクライアントとして使用する場合には、属する LAN のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
- STG-101 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

### ● Active Address

通信先のアドレスを設定します。

- STG-101 本体をクライアントとして使用する場合には、通信先の IP アドレスを設定します。
- STG-101 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

プロトコルの設定

IP Address 192 . 168 . 001 . 003 設定	Subnet Mask Class C 設定	Port Number 09004 設定
Gateway Address 192 . 168 . 001 . 002 設定	Connection Try OFF 設定	Keep Alive OFF 設定
Active Address 192 . 168 . 001 . 004 設定	Time Register 6 設定	Version Number 0.00 Close
MAC Address 00-00-00-00-00 読み込み		

### ● Subnet Mask

サブネット マスクを設定します。  
ほとんどの場合、工場出荷時の  
“Class C” のままご使用いただけます。

### ● Port Number

各機と専用ソフト用のパソコンに共通のポート番号を任意で決めて設定します。

### ● Connection Try

STG-101 本体のクライアント/サーバーを設定します。

値	動作	備考
OFF	サーバーとして使用	クライアント(パソコン)からのソケット接続要求をリスン状態で待機する
ON	クライアントとして使用	サーバー(パソコン)に対しソケット接続が確立するまで要求を続ける

### ● MAC Address

この項目は STG-101 本体の MAC アドレス確認用で、“読み込み” をクリックすると表示します。  
16 進数で表示され本体別に異なります。**設定はできません。**

### ● Time Register

“Keep Alive” が ON のとき、接続を知らせる時間を設定します。

値	時間
1	1(分)
2	2(分)
3	5(分)
4	10(分)
5	20(分)
6	50(分)

### ● Keep Alive

通信障害を回避するため、接続を時間ごとに知らせる機能の有効/無効を設定します。

値	動作
ON	有効(推奨)
OFF	無効

※通信障害は、電源断、ケーブル外れ、ソケットのハーフ コネクション等によるものです。

## 必要なシステム構成

STG-101 専用ソフトを動作させるために、お使いのパソコンは次の環境を有している必要があります。

- Microsoft® Windows 8.1 日本語版, Windows 10 日本語版
- 2MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- Ethernet ポートまたは RS-232C ポート(シリアル ポート)
- Microsoft® IME 日本語入力システム